

令和3年度 岐阜県立多治見高等学校 第1回 いじめ防止対策委員会

令和3年5月18日（火）
多治見高等学校

本年度第1回いじめ防止対策委員会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、書面開催としました。第三者委員の方々に、本年度の多治見高校いじめ防止基本方針を書面にてご確認頂き、ご指導・ご助言を承りました。

1 委員紹介

第三者委員	弁護士	木下 貴子 様
	臨床心理士	堀部 幸治 様
	地域代表	小澤 直樹 様
	保護者代表	松岡真有里 様
学校関係者	校長 教頭	生徒指導部長 各学年主任 教育相談担当

2 学校説明

① 全日制 単位制普通科

各学年6クラス、全校生徒数584名（昨年度比+4名）

② 学校の様子

全体的に真面目でコツコツと努力することができ、落ち着いた学校生活を送ることができている。しかしながら、自信を持って主体的に活動に参加することが苦手な面も見られる。

そこで、昨年度より教育目標を見直し、自ら未来を切り拓き社会に貢献できる人物の育成として

- （1）一歩前に踏み出す行動力
- （2）粘り強い探究力
- （3）ともに高め合う協働力

を掲げ、取り組んでいる。また、岐阜県教育委員会より「地域課題探究型学習推進事業」の指定を受け、関連する自治体や企業等と協働し、地域の魅力を知るとともに地域課題を発見・解決する学習を推進している。

部活動も盛んに行われており、陸上競技部、弓道部などが全国・東海大会へ進んでいる。

③ 昨年度のいじめ防止に関する取り組み

○いじめの認知件数 8件（内2件は入力ミス）

○学年別・男女別内訳 1年生男子1件、2年生男子2件、女子2件、
3年生男子1件、女子2件

○いじめ認知のきっかけ

- ・いじめ迷惑調査アンケートより発見 8件
- ・本人からの訴え 0件
- ・保護者からの訴え 0件

○いじめの態様（複数回答）

- ・冷やかしからかい、悪口等 5件
- ・仲間はずれ、無視等 0件
- ・金品を隠す、盗む、壊す、捨てる 0件
- ・パソコン、携帯での誹謗中傷 1件

○事後指導

- 校内において組織的に対応の後、担任・教育相談・SCとの面談指導により注意観察（6件）
- 臨時いじめ防止対策委員会を開催して対応協議（0件）

3 いじめ防止基本方針

①いじめ問題に対する基本的な考え方（基本方針P1）

- ・外部専門家に新たに弁護士の先生に参加していただく。

②いじめの未然防止のための取り組み（基本方針P2～3）

③いじめ問題発生時の対処（基本方針P4～5）

- ・管理職への報告、情報の共有、組織対応につなげる。（法：第23条）
- ・「生徒指導委員会」および、必要に応じて「いじめ防止対策委員会」で対応する。

④いじめの解消（基本方針P5）

⑤いじめ事案等の報告様式について（別紙）

4 指導・助言

【木下弁護士】

- ・いじめについて、具体的な例示を示して、生徒たちが考える授業があると良い。
- ・いじめの種類が大切。外部講師にお願いするなど、具体例を挙げて説明してもらったり、考える機会があると良い。
- ・引き続きコロナ感染症への配慮（いじめにつなげない）が大切。

【堀部SC】

- ・情報共有とチームで動くことが大切。
- ・本人や保護者からの情報が入りやすい環境を作っておくことが大切。
- ・コロナ感染症による影響が長く続き、生徒たちの我慢も限界ではないかと心配。感染対策を行った上で、生徒たちのフラストレーションを発散できる場を用意していただけたらと思います。

【小澤地域代表】

- ・SNSでの誹謗中傷など、わかりにくい時代ですが、子供たちが社会に出てから善悪がわかる人材に育ててもらいたい。

【松岡保護者代表】

- ・具体的な例が書かれてあり、対策しやすいと思いました。自分が感じるのと周りが感じるのは違うので、傷つく人が減ることを願います。
- ・毎月何かしらの取り組みがあるので、気づきが少しでも早いと良いと思います。
- ・アンケートにより発見されたのが100%とのことで、難しい問題なのだと改めて思います。
- ・解決の仕方はそれぞれ違うと思うので、その人その人に合った対応を見つけていければと思います。